兵庫県立阪神特別支援学校 学校新聞



はぐくみ 第 140 号 発行日 令和 4 年 7 月 19 日 発 行 兵庫県立阪神特別支援学校



# 新入生を迎えて



### 小学部1年

4月、小学部に男子1 1名、女子5名、計16名 の1年生が入学してき ました。

学校生活では見るもの触るもの全てが初めての連続。不安を感じて泣いてしまう子、また元気に走り回る子とさまざまでした。

5月の授業参観では、 まだ椅子に座ることも 難しかった子どもたち ですが、6月の体育大会 では、全員が開会式に出 て、大勢の観客を前に、 走ったり、大玉を転がし たりと、よく頑張りまし た。

先週、皆で行く予定だった初めての遠足は、てるてる坊主に願いが届かず中止となってしまいました。秋の遠足では学年全員でバスに乗り出発したいと思います。

この学校での生活は 始まったばかりです。友 だちと一緒に学び、遊 び、給食を食べて、さら に大きく成長してほし いと願っています。



## 中学部1年

中学部に 54 期生 29 名が入学しました。入学 当初は、緊張した様子が 見られましたが、学校生 活にも慣れ、楽しそうに 過ごしている様子が見 られるようになりまし

体育大会では、一生懸命に取り組み、上級生に 圧倒されながらもダンスに、徒競走に力いっぱい頑張りました。

遠足は、「バンドー神戸青少年科学館」へ行きました。欠席者もなく全員参加することができ、学校とは違う雰囲気を思いっきり味わい、楽しむことができました。

中学部での3年間は、 身体的にも精神的にも 大きく成長する時期で す。たくさんの経験をし ながら、仲間を大切にす ること、積極的に関わろ うとする姿勢を身に着 け、大きく成長して欲し いと思います。



### 高等部1年

高等部1年生に、51 期生39名の新入生が入 学しました。入学当初 は、緊張した表情で様子 を伺っていましたが、今 ではクラスを超えて、友 だちと楽しそうに話す 姿がたくさん見られま す

高等部で初めての行 事、体育大会。クラスで 相談したり、助け合った りしながら取り組みま

社会見学では立杭陶の郷へ行きました。学校から離れた場所での活動に、いつも以上に積極的な姿が見られました。

これから様々な経験 を積み、友だちや多くの 人との関わりを通して、 自立した生活を目指し、 社会人として必要な力 を身につけていきたい と思います。



# 分教室1年

分教室に8期生14名が入 学しました。4月当初は緊張 した様子も見られましたが、 さまざまな授業や行事を経 験する中で学校生活に慣れ、 今では明るく元気な声が教 室に響いています。

6月6、7日の武庫荘総合高校文化祭では、分教室ワークショップの受付や呼び込みを担当しました。初めての大きな行事に緊張しながらも、責任をもって役割を果たしました。6月16、17日の宿泊学習は、「助け合い、思いやりと友情をはぐくむ」ことを目標に掲げ、アスレチック体験や福祉体験などの活動や寝食を共にすることで、絆が深まった2日間となりました。

分教室生として職業、生活 自立に向けた学習に励み、お 互いを思いやり、高め合える 学年として仲間と共に良い 学校生活を送ってほしいと 思います。



#### 訪問学級より

今年度の訪問学級は、中学部3年生1名・高等部1年生1名・高等部2年生1名の計3名でスタートしました。まだまだコロナウイルスの拡大には予断を許さない状況もありますが、学校行事やビデオ交流などで、交流学級を中心に本校の皆さんと交流できることを楽しみにしています。

4月にはそれぞれの自宅で、中学部3年生・高等部2年生が始業式を、高等部1年生が入学式を行いました。新年度のスタートにあたって、校長先生・教頭先生の話を、やや緊張しながらもしっかりと聞いているように感じました。



ご家族と情報共有し、体調を整えながら、それぞれのペースで学習に取り組んでいきたいと思います。

#### 進路指導部より

6月13日(月)~6月24日(金)の2週間の枠を設け、高等部2年生、3年生を対象に5日間の現場実習を実施しました。現場実習では、各実習先で行われている作業や活動を実際に体験しました。作業内容は事業所によって様々で、手芸制作やタオルたたみ、箱の組み立て等を行いました。レクレーション活動では、カレンダーや飾り作り等の制作活動や体操やウォーキングをしている事業所もありました。初めて会う人、慣れない作業や活動に対し、不安や戸惑い、緊張があったと思います。その中でも、真剣な表情で作業に取り組んだり、環境の変化によっての緊張から疲れがでたりと、いろいろなことを感じた5日間だったと思います。保護者の皆様には、日々の体調管理や実習中の送迎、反省会への出席等、ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

現場実習は、卒業後の生活を実際に体験できる機会となっています。しかし、実習だけでは卒業後の進路 を決めるのは難しいので、実際に様々な事業所へ見学に行って、進路決定の参考にしてほしいと思います。

それでは、事業所見学のポイントお伝えしたいと思います。一つ目は、雰囲気です。大きな建物で賑やかな雰囲気の場所もあれば、こじんまりと小集団で活動しているところもあり、事業所によってカラーが異なります。二つ目は作業内容です。箱の組み立てをしているところもあれば、手芸、ギフト詰め、パンやクッキー作り、喫茶などをしているところもあります。また、余暇活動を中心にレクレーションを取り入れているところもあり、作業時間も事業所によって違います。三つ目は、送迎や給食の有無です。送迎、給食は毎日のことなので、保護者の方も気になる点かと思います。送迎はルートや費用、昼食は提供があるのか、持

参なのかをご確認いただけたらと思います。



卒業後の進路を決めるためには、情報がとても大切です。事業所見学 を通して情報を集めていただけたらと思います。また、進路指導部とし ましても情報を発信できるように取り組んでいきたいと思います。ご不 明な点ございましたら、いつでも進路指導部にお声かけください。